

# ストリームガード・オーバル(1302) / オーバルL(1304) 装着方法

(下図写真はストリームガード・オーバル(1302)のもので、ストリームガード・オーバルL(1304)も同様の手順となります)

## 気管内挿管後の装着



① 患者様の顎側に立ち、写真のようにストリームガード・オーバル(以下、本体)の下側のくぼみにインフレーションラインが張られた状態となるように保持します。



② インフレーションラインを張ったままの状態、気管内チューブと吸引ラインを重ねて縦方向につまみます。



③ 本体の角に②でつまんだ部分を上図のように角度をつけてつまませます。(この時にインフレーションラインが下側のくぼみに、吸引ラインが上側のくぼみにそれぞれ収まるようにセットします。)



④ ゆっくりと本体を倒しながら患者様方向へ滑らせ、気管内チューブと吸引ラインを収めてゆきます。



⑤ すべてのラインが本体に収まった段階で、吸引ラインとインフレーションラインが真っ直ぐに本体内に収まり、キック等異常がないことを確認してください。



⑥ ⑤の確認後、患者様口腔内へ挿入してください。

気管内チューブ、インフレーションライン、吸引ラインそれぞれが正常に機能していることを常に確認してください。異常が確認された場合は直ちに使用を中止してください。

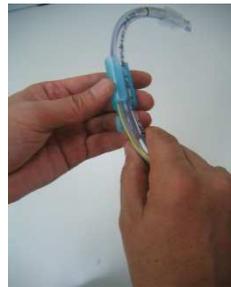
## 気管内挿管前の装着



① 気管内チューブのインフレーションライン分岐部とカフの間の部分をつまみ、本体の広く空いた部分を写真のように合わせます。



② 本体を倒しながら、気管内チューブを本体に収めます。



③ 本体をスリップジョイント方向にスライドさせ、目的とする位置まで移動させます。この時に吸引ラインとインフレーションラインが真っ直ぐに本体内に収まり、キック等異常がないことを確認してください。



④ 気管内挿管時、術者が直接チューブを保持できるよう写真のような場所に本体を移動し、挿管後本体を口腔内へ移動させます。

気管内チューブ、インフレーションライン、吸引ラインそれぞれが正常に機能していることを常に確認してください。異常が確認された場合は直ちに使用を中止してください。

## 気管内チューブへの固定



① セーフティーフックにテープを引っ掛けます。



② 写真のように2周以上テープを巻きつけ、本体と気管内チューブをしっかり固定します。



③ 固定後、施設のプロトコルに従って本体を患者様へ固定してください。